

学校だより



かきた

＜学校教育目標＞

「**自分のよさ(知性・感性)を発揮し、心豊かにたくましく生きる子ども**」を育成する

かしこく **き**よく **た**くましく

いい日もある、もめる日もある、それが学び ～小さな社会の小学校～

校長 熊倉 秀幸

先日の学校公開日、多くのご家族の方にご来校いただきましてありがとうございました。お子様の様子、そして学校の様子はいかがだったでしょうか。午後に行われた『かきた祭り』では、普段と違ったお子様の姿もご覧いただけたかもしれません。

小学校では、異年齢集団活動を大切にしています。本校では「ふれあい班活動」というグループを組んで、6年生が中心となって遊びの計画を立てて運営し、年間を通して活動しています。様々な活動を通して、相手を思いやる気持ちを育んだり、協調性と自主性を養ったりしています。高学年にはリーダー性を養い、低学年には上級生の頑張りを見せることであこがれや敬う気持ちをもてるようにしています。そうやって育てた資質は、子供たちが社会に出て必要となる非認知能力であり、学校以外で身に付けることが難しい力であると思っています。

学校では教科等以外の学び(当番活動や係活動、日直や清掃、給食当番等も含まれます。)は海外ではあまりないものであり、日本独特の教育であると言えます。海外の教育情勢を受けて、特にコロナ渦以降において、義務教育期の学校では、学習以外の活動を見直したり減らしたりしていくことに肯定的な考え方も見られます。日本における義務教育の目的は、教育基本法の第1条に示されています。

『第1条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身共に健康な国民の育成を期して行われなければならない。』

教育の目的である人格の完成を目指すには、学習・運動・生活のバランスの取れた育成が不可欠です。学校だけではなく、家庭と一緒に、3つをバランスよく育成していくことで、心もバランスよく育っていきます。心も含めた育成を目指すのが日本の学校教育です。

このような目的から形作られた日本の学校教育ですが、現在では教育以外の学びの部分について、海外でクローズアップされています。かすみ北小の子供たちも、数年後には確実に社会の一員として独り立ちを迎えます。その時に、学校での学びが生きて自ら考えて道に迷わずに進めるように、全教職員が自ら伸びようとする児童を見守り伸ばしていけるように、今後も力を尽くしていきます。

『笑顔キラキラかすみ北』 これからもどうぞよろしく願いいたします。